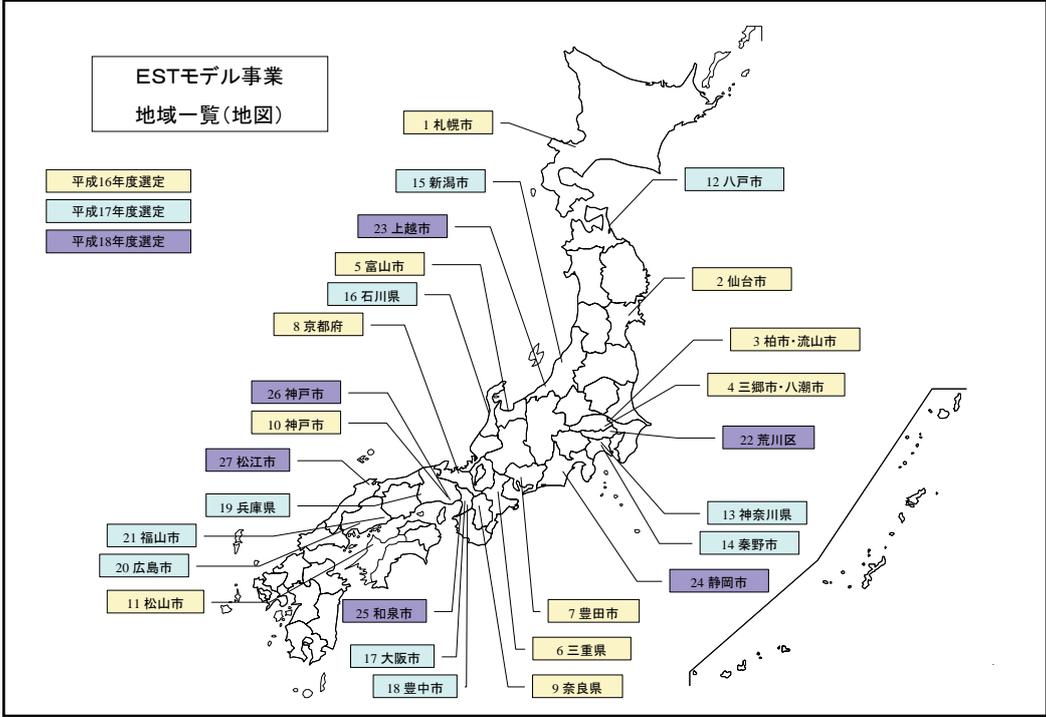


環境的に持続可能な交通（EST）モデル事業

- ◇ 環境的に持続可能な交通の実現を目指す先導的な地域を募集し、関係省庁、関係部局の連携により集中的に支援
- ◇ モデル事業には、環境目標の設定・検証、取組効果の持続性の確保を求め、環境の観点から施策の効果を確保
- ◇ 自治体、地元経済界、交通事業者、道路管理者、警察関係者、NPO等、地元の幅広い関係者が参加して事業を推進



	テーマ	応募主体	概要
1	人と環境を重視した新しい時代の都心交通の創出「さっぽろ都心交通計画推進事業」	札幌市	公共交通を軸とした交通システムの充実、適正な自動車等の利用による交通の円滑化、道路空間の再配分による都心再生の具体化等により、人と環境を重視した新しい時代の都心交通の創出を目指すもの
2	環境負荷の小さい交通への転換(環境的に持続可能な交通(EST)への転換)	仙台市	公共交通による移動時間短縮施策、公共交通サービス向上施策、TDM施策、景観・緑化事業等の推進により軌道系交通機関を基軸とした集約型市街地の形成や杜の都にふさわしい緑美しい都市の実現を目指すもの
3	「つくばエクスプレス」開業に伴う総合的な公共交通機関の利用促進	柏市 流山市	つくばエクスプレス開業に併せたバス路線の再編を中心に、コミュニティバスの導入、駅前広場や駐車場の整備等による公共交通機関への利用転換や自転車を活用したまちづくり、低公害車の導入等による環境負荷の軽減を図るもの
4	三郷市及び八潮市全域をステージとした持続可能な交通環境づくりモデル事業	三郷市 八潮市	つくばエクスプレス開業に併せたバス交通ネットワークの再編、バス共通ICカードの導入、交通モード相互の情報提供システム整備等による公共交通利用促進策、三郷駅周辺の交通円滑化を進め、環境的に持続可能な交通環境の創出を目指すもの
5	富山市における環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業	富山市	富山港線へのLRT導入等公共交通の整備や交通拠点整備等による公共交通機関への転換を図るとともに、都市内道路空間の整備等交通円滑化、都心居住の推進により中心市街地の活性化を図り、環境にもやさしく持続可能な都市構造を目指すもの
6	地方都市圏における公共交通利用促進による地球温暖化防止実践活動の検証と定着	三重県	三岐鉄道の整備及び駅周辺事業を中心に、鉄道・バス利用者の利便性向上を図るとともに、パーク・アンド・ライドや普及啓発活動に取り組むことにより、三重県北勢地区において環境負荷の小さい交通への転換を目指すもの
7	交通モデル都市環境改善プロジェクト「人と環境にやさしい先進的な交通まちづくり」を目指して	豊田市	通勤等のTDM施策の推進や、ITS技術を活用した総合交通対策に取組み、公共交通の利用促進や道路空間の円滑化等とあわせ、「人と環境にやさしい先進的な交通まちづくり」を進めるもの
8	京都都市圏における環境負荷が小さく便利で快適な移動環境づくり	京都府	京都議定書策定の地で、過度に自動車に依存したライフスタイルや土地利用を見直し、鉄道へのアクセス改善や通勤交通需要マネジメント等を含めた総合的な施策の組合せにより、環境負荷が小さく持続可能な都市圏づくりを進めるもの
9	古都奈良における平城遷都1300年記念事業に向けた交通流対策	奈良県	多くの来訪者が見込まれる平城遷都1300年記念事業に向け、公共交通機関の利用促進を図ることを基本に、道路等交通基盤整備やマイカー通勤の自粛等、ハード・ソフト両面から効果的に施策を進め、環境的に持続可能な交通を目指すもの
10	神戸の都心地域における環境的に持続可能な交通体系の確立	神戸市	歩行者に利用しやすいまちづくりと利便性の高い交通手段の整備の連携により、自動車からのCO2排出削減を図るなど神戸の都心地域における環境的に持続可能な交通体系を確立しようとするもの
11	松山まちづくり交通計画の推進	松山市	交通結節点整備、サイクル&バスライド等の公共交通機関の利用促進や、交差点改良等の道路整備、低公害バスの導入等、総合的な交通施策を講ずることにより、交通分野の環境負荷低減を図るもの
12	「環境先進都市～八戸」の理念に相応しい環境的に持続可能な交通(EST)への転換	八戸市	バスを中心とした公共交通の再編・再構築等により公共交通への利用転換を促進し、トランジットモールの導入を検討することによって都心の再生を図るほか、低公害車バスの導入やITSの活用によるサービス改善、渋滞緩和や歩行空間の確保による道路整備を推進する。
13	環境共生モデル都市圏における地球環境にやさしい交通体系づくり	神奈川県	平成17年11月22日に認定された「神奈川カーシェアリング利用促進特区」にあわせて、民間事業者によるカーシェアリングの県内拡大を図ることや、鉄道及びバスの利便性向上策により自動車交通から公共交通等への転換を図ることによって、地球環境にやさしい交通体系のまちづくりを目指す。
14	はだの交通スリム化推進事業	秦野市	近隣工業団地等における通勤時の交通マネジメント、PTPSによるバス走行改善、ノーマイカーデー、短距離区間の自転車通勤支援策等をおこない、公共交通の利用を促進し家用自動車に過度に依存しない広域的な街づくり・交通体系の構築を図る。
15	新潟都市圏総合都市交通計画におけるバス利用の推進	新潟市	バスを中心とした公共交通の再編・再構築、バスの運行状況の情報提供、パーク&バスライド等により公共交通への利用転換を促進し、新潟市の広域交通体系において公共交通による都心への結びつきを強くすることによって、賑わいのある都心の構築を図る。
16	金沢都心部の渋滞解消と公共交通の利用促進による環境負荷軽減	石川県	金沢市中心部周辺に設けた駐車場を有効活用したパーク&バスライド等を実施し、市中心部のバス交通の見直しや渋滞の原因であるボトルネック交差点を改良することにより、公共交通の利用促進等による環境負荷の軽減された観光都市を目指す。
17	大阪市における環境負荷の少ない都市内移動システムの確立	大阪市	地域一体型の事業者向けや学校向けのモビリティマネジメント、マップ等を用いたTDM等の啓発事業を実施し、ICカードの導入や駅のバリアフリー化により鉄道・バスによる公共交通利用促進を図るほか、交通流の円滑化事業等を組み合わせることにより都市内移動の環境負荷軽減を目指す。
18	豊中市における人と街に優しい持続可能な交通をめざして 一とよなか夢創(輸送)プランの推進	豊中市	条例に基づくエコドライブの推進、自転車・公共交通利用マップ等による交通環境教育の実施、カーシェアリング等の実証実験のほか、低公害車導入アクションプランの推進、大阪大学と連携した持続可能な都市の評価とPR、バリアフリー施設の設置による公共交通への利用転換を図る。
19	尼崎西宮臨海部における環境にやさしい交通基盤・システムの構築モデル事業	兵庫県	国道43号と阪神高速湾岸線に挟まれた尼崎臨海地域における排気ガスによる大気への負荷を低減するため、バスの試験運行を開始し、自転車道の整備や歩行空間の確保を図ることによる自動車利用を抑制を図るほか、低騒音・透水性舗装の実施、木製防護柵等の道路施設を整備する。
20	広島における「ひと・環境」にやさしい交通体系づくり	広島市	路面電車のLRT化や交通結節点の改善、低公害バスの導入等による公共交通利用の推進、自動車専用道路の整備や都心を通る自動車交通の排除、パーク&ライドや時差通勤、ノーマイカーデー、モビリティマネジメントによる交通需要マネジメントの推進等により、人間を中心に据えた環境への負荷の小さい持続可能な都市の形成をめざす。
21	福山都市圏交通円滑化総合計画におけるソフト主体施策の実現化	福山市	交通円滑化総合計画に基づく地域における渋滞緩和を図るため、ノーマイカーデーを中心とした通勤交通対策の実施、学校教育におけるTFP調査の実施、公共交通機関の利便性向上を目指したレンタサイクル事業や駅前広場の整備により環境負荷軽減を推進する。
22	人にも地域にも地球にもやさしい「環境交通のまち・あらかわ」の実現	荒川区	荒川区南千住東部(汐入)地域を重点地域として、トランジットモール・カーフリーゾーンやパークアンドライドの実証実験等を実施して、マイカー利用の減少を目指すとともに、都電とコミュニティバス等との接続やコミュニティバス(エタノール車)の延伸実験等により地域の幹線交通網の利便性を図る。
23	市町村合併による市域拡大に対応した持続可能なまちを育み支える公共交通	上越市	市域拡大に対応するため鉄道及び幹線バスと支線バスを組み合わせた階層的ネットワークや市街地内のバス運行等のバス路線の再構築を図るとともに、バスロケシステムの設置や企業・学校教育におけるモビリティ・マネジメント、交通円滑化事業等の推進を図ることにより、習慣的に利用できる公共交通を確立し公共交通への転換を促す。
24	快適なモビリティ都市の実現に向けた自然環境にやさしい交通体系の整備	静岡市	道路の立体化や4車線、拡幅等による渋滞解消や低公害車の導入を通じて自動車単体のCO2排出量の抑制を図るとともに、低公害車の導入や利用促進、バス停のハイグレード化やバスロケシステムの導入、サイクルシェアリング、ワンステップバス・ノンステップバスの導入等により自動車から公共交通利用への転換を促す。
25	和泉市における市民、事業所、学校、行政団体等が協働する環境負荷の少ない交通マネジメント推進事業	和泉市	市民及び事業所を対象としたモビリティ・マネジメントの実施(通勤バス共同運行、共同エコドライブ研修等の実施)、駅及び駅周辺のバリアフリー化、ボトルネック踏み切りの解消などを組み合わせて実施する。また、小学校を対象とした「交通・環境学習」の推進等の啓発活動を実施する。
26	神戸市の都心周辺部におけるMMを中心とした持続可能な交通体系の確立	神戸市	マイカー通勤率の高い郊外の工業団地において、モビリティ・マネジメント(通勤経路等に関するアドバイス、講演会等)を実施しマイカーから公共交通への転換を促すと同時に、バス事業者間でのダイヤ調整等の公共交通を利用し易くする施策を展開する。さらに、都心部への移動に車の利用率の高い西神地区で、重点的に公共交通の利便性を広報するなど、都心部への流入交通を削減する。
27	だれもが、安心して、やさしく移動できるまち・松江の交通体系づくり	松江市	各地域に自治会・老人会・PTA等により構成される利用促進協議会を設置し、市民の声を反映させることで公共交通機関の利用促進を図る。あわせて、終バス延長実証実験の実施、バスサポーター制度の導入、わかりやすい行き先案内の整備、TDMによる公共交通機関利用への意識転換等により、マイカーから公共交通機関への転換を図る。

札幌市における環境的に持続可能な交通 (EST) モデル事業

さっぽろ都心交通計画推進事業 ・世界に誇れる「交通まちづくり」を目指して

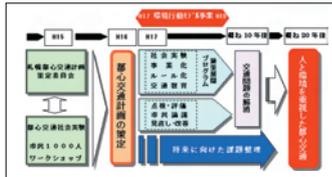
(1) 計画目標

- ・人と環境を重視した新しい時代の都心交通の創出
- ・都心の活性化に寄与する交通施策の推進

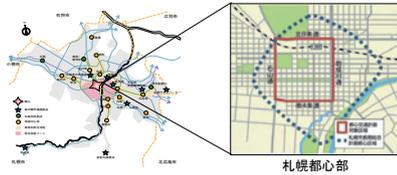
(2) 計画の基本方針

- ・公共交通を軸とした交通システムの充実
- ・適正な自動車等の利用による交通の円滑化
- ・道路空間の再配分による都心再生の具体化
- ・社会実験の継続と市民と協働によるプロジェクト展開

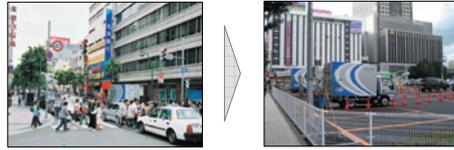
■都心交通計画の全体フロー



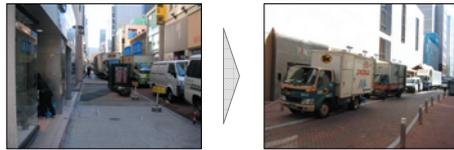
(3) 計画対象区域



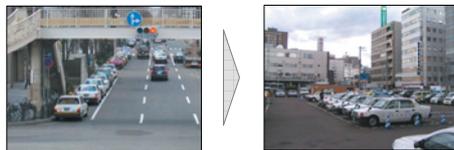
(4) 施策展開例



事業者による路外荷さばき施設の配置



路上荷さばき施設の設置(さっぽろシャワー-通タイムシェアリング)



H18 タクシー客待ち環境改善社会実験

仙台市における環境的に持続可能な交通 (EST) モデル事業

事業概要

仙台市は公共交通を重視した総合交通体系の構築を目指すアクセス30分構想を策定し、公共交通による移動時間短縮や公共交通サービス向上、TDMを推進することにより、軌道系交通機関を基軸とした集約型市街地「コンパクトシティ」の形成や都の都にふさわしい緑美しい都市「百年の杜づくり」の実現を目指している。

増大する自動車利用

代表交通手段の推移(仙台都市圏)



代表交通手段構成(仙台都市圏パーセントリップ調査)

目標

平成19年度までに

対象エリアのCO2排出量を

8,524 ton削減

- ・渋滞解消による旅行速度の向上
- ・渋滞解消及び低公害車両導入等によるCO2排出量の削減

ESTモデル事業実施施策

平成17年度～平成19年度



- 渋滞の緩和
 - ・幹線道路の整備
 - 北四番丁岩切線(幸町) ほか
 - ・交差点の改良
 - 国道48号木町通交差点
 - 路上工事の縮減
 - 景観・緑化事業等
 - ・電線共同溝に併せた歩道整備
 - 国道45号(原町地区等)
 - ・緑化によるCO2削減
 - 国道4号(東二番丁) ほか
 - ・共同溝事業
 - 国道45号仙台東部共同溝

- 新駅設置
 - JR東北線(仮称)南長町駅
- 既存軌道系関連道路等整備
 - ・アクセス道路の整備
 - 長町折立線(土手内) ほか
 - ・駅前広場の整備
 - JR東北線南仙台駅(東口) ほか

- 啓発事業
 - ・ポスターの作成・掲示
 - ・ステッカーの作成・配布
 - ・ホームページでのEST事業紹介
 - ・各種イベントにおける啓発活動

○ オムニバスタウン計画その他のソフト施策

- ・仙台市オムニバスタウン計画
 - バスロケーションシステム、都心部バス100円均一運賃制度 ほか
- ・その他のソフト施策
 - 低床CNGバス、低床アイドリングストップバスの導入 ほか
 - ITSによる円滑な移動の支援
 - ・市民や地元企業と連携した通勤交通需要マネジメント
 - P&R、時差通勤通学等
 - ・自転車ルール・マナー啓発による利用環境向上

柏市・流山市における環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業

事業概要

柏市・流山市では、つくばエクスプレス沿線駅周辺地区においてのまちづくりテーマを「環境と健康」として進めており、この地区を中心として、総合的な公共交通機関の利用促進により、自家用車利用から公共交通機関等への利用転換や自転車を活用したまちづくりにより環境負荷の軽減を図るもの。



目標

1年目 駅利用者 1%増加
 2・3年目 柏市、流山市内のバス利用者 1%増加
 自転車駐輪場の契約台数 1%増加
 CNG車等導入 5%増加

達成度

1年目 駅利用者 1.7%増加
 二酸化炭素排出削減量 2,949t-CO2/年
 (アンケートによる交通利用転換から推定) 0.4%削減



三郷市全域をステージとした持続可能な交通環境づくりモデル事業

事業概要

つくばエクスプレス三郷中央駅を中心としたバス交通ネットワークの構築に併せ、駅前広場整備、駅周辺道路の整備、公共交通情報提供システム整備等の公共交通利用促進策により、自動車利用の抑制を図るとともに、道路交通の円滑化のための渋滞対策等を促進し、CO2の排出を抑制するなど、環境的に持続可能なコンパクトな交通環境を創出する。

ESTモデル事業(計画及び実施事業)

- バス交通利用促進関連事業 (●○:実施箇所)
 - ①バス交通ネットワーク再編成事業(市内全域)
 - ②バス共通ICカード導入事業(市内全域)
 - ③公共交通情報提供システム導入事業
 - ④モビリティマネジメントの実施(ピアラシティ・プロジェクト)
 - ⑤インターA地区商業施設(ピアラシティ)へのバスの導入
 - ⑥インターA地区商業施設(ピアラシティ)における宅配便の導入
 - ⑦バスガイドブックの配布(市内全域)
 - ⑧ホームページ等によるバス情報の提供(市内全域)
- 交通結節点整備等関連事業 (●○:実施箇所)
 - ⑨三郷駅・三郷駅周辺のバリアフリー化、安全で円滑な交通環境づくり
 - ⑩三郷中央駅前広場整備事業
 - ⑪三郷駅駅前広場、公共交通シームレス化導入事業
 - ⑫ピアラシティバスターミナルの整備事業
- 道路交通の円滑化、安全性確保の関連事業 (●○:実施箇所)
 - ⑬幹線道路へのアクセス道路整備事業
 - ⑭道路渋滞及びバス走行環境の改善事業調査
 - ⑮経路分析調査(市内全域)
- 自転車利用促進関連事業 (●○:実施箇所)
 - ⑯サイクルアンドライド、サイクルアンドバスライド促進事業
 - ⑰駅からのサイクリング促進事業(市内全域)
 - ⑱自転車ネットワークの形成(市内全域)



- 目標: ①公共交通利用者対2004年比0.5%増加
 ②休日のピアラシティへの自動車来店台数7%削減
 ③新規バス路線利用者数1便あたり12人確保



八潮市における環境的に持続可能な交通（EST）モデル事業

事業概要

八潮市は、平成17年8月に開業したつくばエクスプレス八潮駅を中心としたバス交通ネットワークの構築を図り、環境的に持続可能な交通環境を創出することによりまちづくりをすすめる。

18年度事業

- ・八潮PAを活用した高速バス&TXライド(可能性調査)
- ・コミュニティバス利用促進事業
- ・バス再編の検討及び公共交通に関する市民アンケート調査
- ・公共交通利用促進マニュアル(バスガイドブック)作成

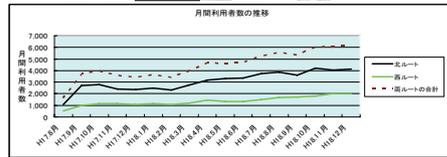
目標

- 公共交通利用者数前年比17年度は0.5%増加、18年度は0.7%増加、19年度は0.9%増加を目標
※ただし、18年度は17年度が目標未達成であったため0.5%増加(継続)
- 新規バス路線利用者数1便あたり12人確保
⇒自家用車の利用を抑制しCO2の削減を図る

八潮駅と八潮PAが近接

有効活用

高速バス&TXライド



富山市における環境的に持続可能な交通（EST）モデル事業

事業概要

富山市は、過度に車に依存した交通体系となっており、少子高齢化及び地球温暖化といった社会問題をふまえ、車からLRT (Light Rail Transit) などの公共交通への転換を進めるとともに、都心居住の推進、中心市街地の活性化を図り、環境にも優しく持続可能な都市構造(コンパクトなまちづくり)を目指すもの。



目標

平成19年度までに
対象エリアCO2排出量を
631t-CO₂(約0.6%)削減(H16年度比)

・富山港線のLRT化: 456t-CO₂の削減 等



環境行動計画モデル事業（三重県北勢地区）

事業概要

鉄道整備・駅周辺整備事業と連携し、鉄道・バス利用者の利便性を高めながら、集中的に普及啓発やパーク・アンド・ライドを実施することにより、環境負荷の小さい交通への転換を促す。さらに、その方法の検証と地域交通計画を提案し、実践活動の定着と拡大を図る

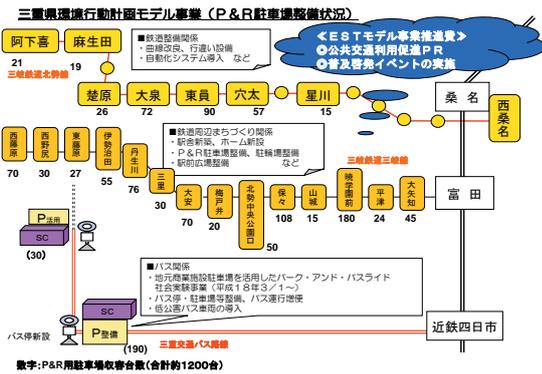
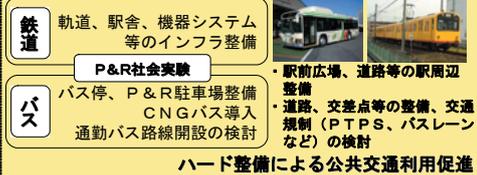
目標

平成19年度までに
対象エリアCO2排出量を
年間273t-CO2削減（事業実施前との比較）

・P&R駐車場利用者数の増加分から推計

需要者サイドの取組喚起に繋がる普及啓発・調査

- ・イベントの開催やP&R参加者募集・事業告知などの公共交通利用促進キャンペーンの実施
- ・地元事業所と連携した通勤交通マネジメント調査の実施（モビリティマネジメントの手法を活用）



豊田市における環境的に持続可能な交通（EST）モデル事業

事業概要

豊田市は、TDM施策の推進やITS技術を活用した総合交通対策に取組み、環境的に持続可能な「人と環境にやさしい先駆的な交通まちづくり」を進める。

【5つの基本方針】

- ITSを横断的に活用し、すべての交通施策を有機的に連結して、まちづくりの中でTotal Planを実現する。
- 利便性の高い公共交通の整備と利用促進【公共交通分担率の向上】
- 人と環境にやさしい安全で快適な道路づくり【渋滞の緩和】
- すべての人にとって使いやすい空間の創出（ユニバーサル化）
- 自動車排気ガス対策の推進と環境にやさしい行動の実践【環境負荷の低減】



目標

平成19年度までに対象エリアの公共交通機関利用者数：7.2%増（平成13年度比）

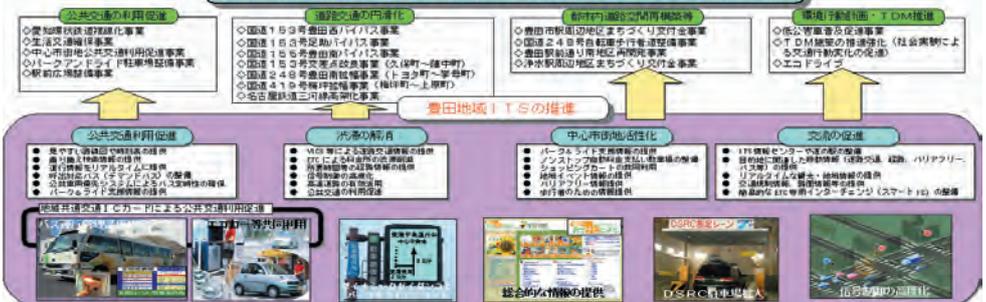
CO2削減評価

幹線道路における旅行時間計測、公共交通機関の利用者数等の実態調査に基づいた環境改善効果（CO2削減）の検証

モデル事業メニュー

環境の改善

交通環境モデル都市『人と環境にやさしい先駆的な交通まちづくり』の実現



京都市圏における環境負荷が小さく便利で快適な交通環境づくり

目的: COP3開催地京都で、環境負荷が小さく、便利で快適な移動環境構築を通じ、豊かな都市圏づくりを推進する

企業と共に
 ・宇治地域通勤交通社会実験(トラベル・フィードバック・プログラム)
 ・宇治市中心部(宇治地域)の通勤者(約5000人)を対象に実施
 鉄道・バス利用者が増大し、通勤自動車が一割削減
 クルマ利用者の13.1%がクルマ通勤を転換

・複数企業と連携した交通運営方策検討
 送迎バスの共同運行・通勤バス社会実験の実施

地域と共に
 ・女性団体とお出かけマップづくりワークショップ
 京都府南部の6つの女性団体、老人会、自治会とお出かけに必要な情報をとりまとめ、地域に配布

学校と共に
 ・小学校を対象としたバス交通を考える取り組み
 久御山町立佐山小学校等(3校)で子供たちがまちづくりやバスの利用促進策を提案



宇治通勤マップ ↑

- 居住者向けMM
- 企業向けMM
- 学校向けMM

● 都心地域
 ● 都市計画区域
 ● 交通流動



マイクロボス

ジャンボタクシー

実験バス



↑ お出かけマップづくりワークショップ



↑ バスの体験乗車

奈良県・環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業

事業概要

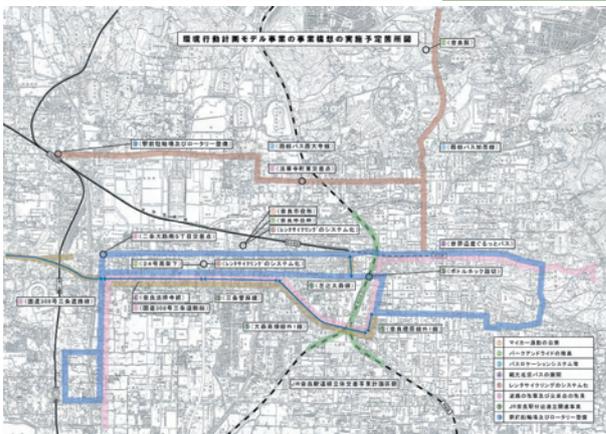
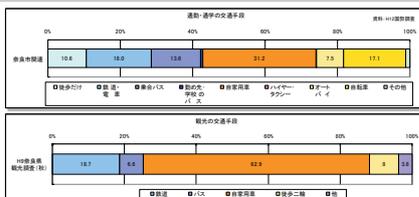
奈良県においては2010年に平城遷都1300年記念事業の開催を控えており、今の段階から公共交通の利用促進を図ることなどを基本として、ハード・ソフトいずれについても可能な事業から効率的・効果的に実施し、環境的に持続可能な交通の実現を目指すもの。

目標

平成19年度までに奈良市の運輸部門のCO₂排出量を
800t-CO₂削減



奈良生駒線二条大路南5丁目交差点付近(H17.12撮影)



八戸市における環境的に持続可能な交通（EST）モデル事業

＝テーマ＝ 「環境先進都市～八戸」の理念に相応しい環境的に持続可能な交通（EST）への転換

事業概要

八戸市は、「環境への負荷の少ない持続的に発展することができる環境先進都市」の実現を掲げる「八戸市環境基本条例」(H16.12.27公布)の趣旨を踏まえ、運輸部門における環境負荷低減対策として、バス路線網の再編・再構築等により公共交通の持続性・利便性を高めるとともに、道路環境の整備等により渋滞緩和を図り、環境的に持続可能な交通（EST）への転換を目指す。

	H6	H11	H16
市営バス乗合輸送人員	1654万人	1110万人	880万人
市内自動車登録台数	14.7万台	18.8万台	17.8万台

この10年間で、乗合バスの乗車人員は約5割減！
自動車等の保有台数は約2割増！

公共交通の再編・再構築と道路環境の整備等により・・・

目標

平成20年度までに対象エリアのCO₂排出量を
8,658t-CO₂(約3.2%)削減(対未対策時)

※低公害バス導入によるPM削減：1,766kg/kWh



公共交通体系の再編・再構築

- ・南浜地区・美保野地区生活交通再編モデル実証実験
- ・南郷コミュニティ交通事業の推進
- ・公共交通再生プラン策定事業
- ・路線移管・再編による運行効率化

環境的に持続可能な交通モデルの検討・周知啓発

- ・トランジットモール導入の検討継続
- ・広報、CATV、各種イベント等の活用による周知啓発



主な施策

環境とひとにやさしい「みちづくり」

- ・国道45号八戸南道路一部区間暫定供用開始
- ・国道45号八戸バイパス(新井田～妙)の4車線化
- ・県道八戸野辺地線道路改良事業
- ・歩道整備(くらしのみちゾーン形成事業 など)

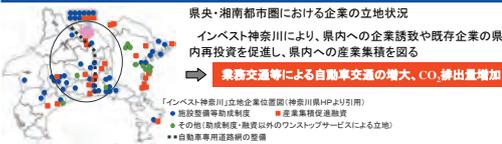
バスを活用した関連施策

- ・低公害車の導入
- ・環境定期券、子ども探検隊エコバスポートの発行
- ・新バスロケシステムの導入
- ・ITSサービスの利用促進

環境共生モデル都市圏における地球環境にやさしい交通体系づくり(神奈川県)

環境共生モデル都市圏(県央・湘南都市圏)において、鉄道やバスの利便性向上方策、カーシェアリング、レンタサイクル等により、自動車交通から公共交通等への転換を図り、地球環境にやさしい交通体系づくりを目指す

期間：平成18年度～平成20年度(平成17年度ESTモデル事業に採択)

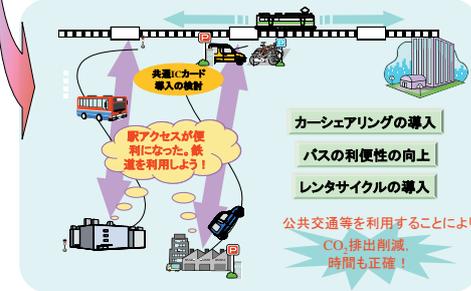


平成18年度の取組み内容

カーシェアリングやバスの利便性向上方策等によるCO₂排出削減量を推計し、CO₂排出削減目標を設定



鉄道端末交通にカーシェアリング等を活用



秦野市における環境的に持続可能な交通（EST）事業

③カーフリーデー 年に1回の実施、本町地区など	地域の事業者等参加による実施に向けた勉強会
④TDM教育（自動車車をかしく利用） 【多世代対象のモビリティマネジメント】 小学生～社会人まで対象、自動車通勤者（約4万5千人） 0.5～2%程度が、公共交通へ転換を期待	・小学校13校中 3校 延べ400人が受講 ・社会人 市職員へのモデル実施 カリキュラムの構築
⑤ノーマイカーデー ・中規模以上の事業所に勤務の自動車通勤 約2万人を対象 ・月あたりの取り組み回数増加を目指す 片道通勤距離 2～15km/人	・第1回 30事業所 延べ2775人日 ・第2回 80事業所 延べ4190人日
⑥パーク&バスライド（P&BR） ・平日余裕のある幹線道路沿いの活用 ・主要な通勤地から2～5km程度 ・1箇所、ピーク時に30～80台程度受け入れ	○地域イベント時のパーク&ライドで試行 698台 1469人が転換 2650台/年 削減
⑦サイクル&バスライド（C&BR） ・バス停周辺の雑地活用、2～4箇所 50～100台分程度	・導入要望の多いレンタサイクルなどをみて 総合検討中

事業概要

- TDM実施計画PDCAサイクル実施のための評価調査と広報の実施
約30の評価指標について実態調査などより把握し、「はたの交通つうしん簿」として公開、またTDM全般や市内の環境にやさしい移動を推奨する広報物件を作成。
- 民間事業所主体型のTDM策の実施とモビリティマネジメント試行
情報提供、バス共同運行、ノーマイカーウィーク、相乗り通勤誘導、従業員通勤啓発など

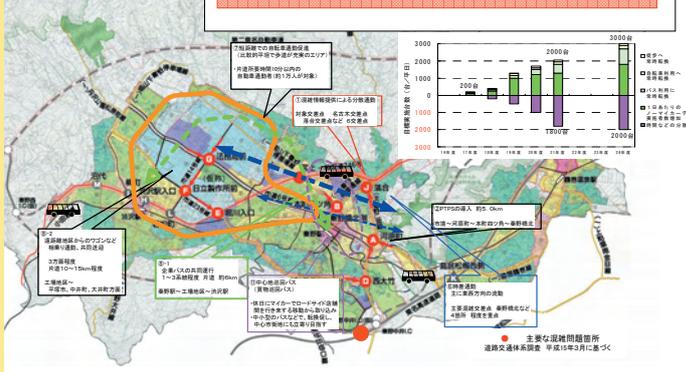
目標

平成21年度までにピーク時の通勤とその他車
利用の台数、CO2排出量を **約7%削減**（H11年度比）

校外活動等実施のための行動チェック

実施日	実施場所	実施内容	実施結果
2009.10.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2009.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2010.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2010.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2010.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2010.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2010.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2010.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2011.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2011.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2011.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2011.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2011.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2011.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2012.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2012.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2012.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2012.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2012.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2012.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2013.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2013.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2013.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2013.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2013.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2013.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2014.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2014.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2014.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2014.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2014.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2014.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2015.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2015.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2015.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2015.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2015.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2015.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2016.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2016.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2016.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2016.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2016.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2016.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2017.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2017.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2017.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2017.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2017.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2017.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2018.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2018.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2018.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2018.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2018.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2018.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2019.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2019.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2019.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2019.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2019.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2019.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2020.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2020.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2020.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2020.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2020.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2020.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2021.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2021.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2021.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2021.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2021.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2021.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2022.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2022.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2022.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2022.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2022.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2022.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2023.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2023.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2023.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2023.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2023.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2023.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2024.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2024.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2024.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2024.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2024.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2024.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2025.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2025.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2025.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2025.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2025.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2025.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2026.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2026.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2026.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2026.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2026.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2026.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2027.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2027.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2027.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2027.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2027.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2027.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2028.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2028.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2028.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2028.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2028.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2028.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2029.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2029.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2029.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2029.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2029.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2029.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2030.1.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2030.3.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2030.5.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2030.7.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2030.9.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加
2030.11.10	市内小学校	交通安全教室	100名参加

2カ年、小学校3校協力の
実行組織
3課のボランティア読み
書きの成果から
TDM教育資料を作成
平成18年度から
市内小学校に展開予定

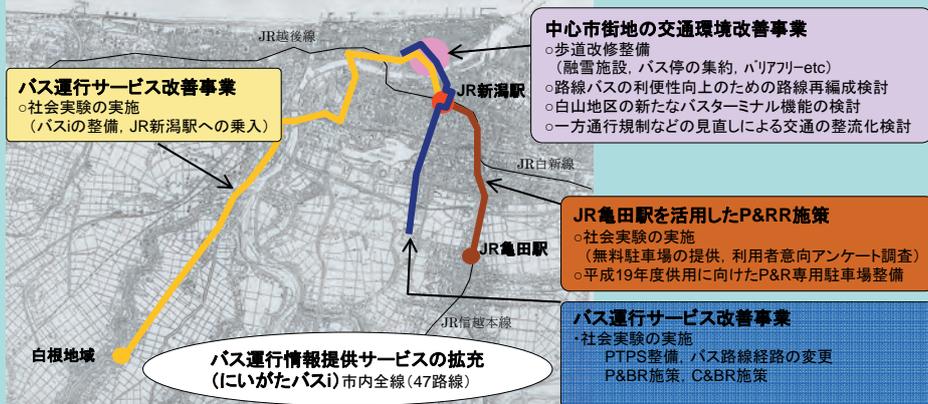


新潟市における環境的に持続可能な交通（EST）モデル事業 《平成18年度事業》

新潟市EST事業概要

新潟都市圏総合都市交通計画に基づき、各種施策を検討・実施し、誰もが安全で快適に移動できる交通環境の実現をはかるとともに、環境負荷の少ない交通へ転換を促し、都市の持続的な発展と環境に調和したまちづくりを行う。

- 都心部の交通環境改善 ○都心アクセス交通環境改善 ○高齢者や来訪者など誰もが安心して利用できる交通体系実現



平成18年度: 社会実験等継続中

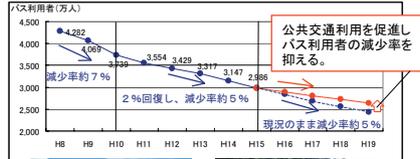
政策目標(3カ年): 230t-co2

金沢都市圏における環境的に持続可能な交通（EST）モデル事業（石川県）

（別紙2）

事業概要

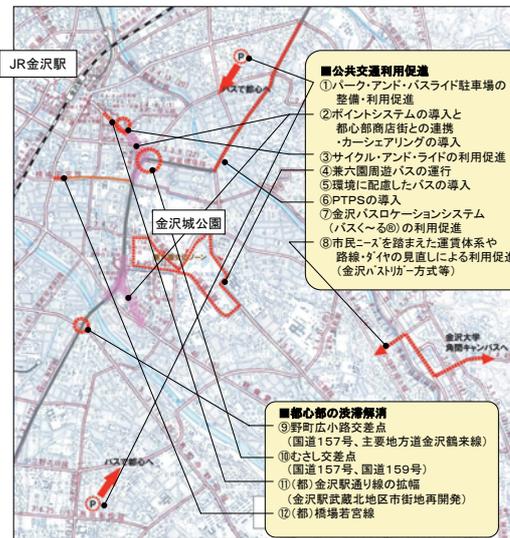
金沢都市圏において、これまでTDM施策により公共交通利用の転換を進めてきた。今後も、パーク・アンド・ライドや兼六園周遊バス等により市民や観光客の公共交通の利用促進を図るとともに、交差点改良等により金沢都心部の渋滞解消を図り、都心部における環境負荷の軽減を目指す。



目標

平成20年度までに
対象エリアCO2排出量を
896t-CO₂(約0.8%)削減 (H17年度比)

ESTモデル事業実施予定箇所図



大阪市における環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業

事業の概要

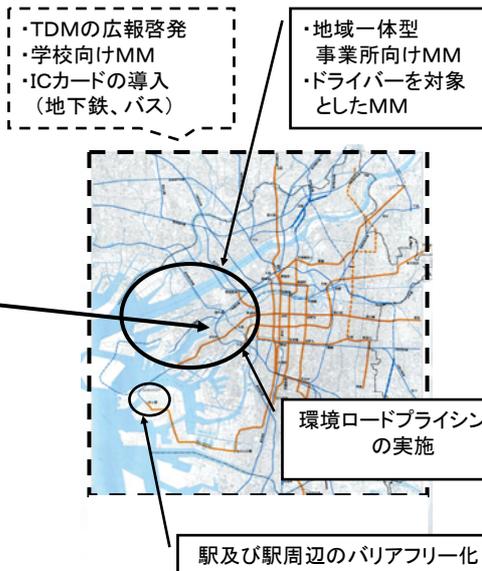
様々な施策を組み合わせることによって、市民・事業者・関係機関と共に、生活利便性や活発な都市活動を支える環境負荷の少ない都市内移動システムの確立を目指すもの。



国道43号の大阪市港区弁天町駅前付近

ESTモデルの効果

CO₂の削減効果として
110トン-CO₂/年



豊中市における人とまちに優しい持続可能な交通をめざして

—とよなか夢創（輸送）プランの推進—

	平成19年度予定の事業内容	平成18年度実施の事業内容
自動車利用の削減	①豊中市における率先行動の推進：エコ通勤文化創出のため通勤行動調査範囲拡大の検討等 ②交通環境学習の実施(大阪大学共同研究事業)：保育所、幼稚園、小学校での実施	①豊中市における率先行動の推進：エコ通勤文化創出のため通勤行動調査(環境政策室)及び環境配慮型通勤手当への改正 ②交通環境学習の実施(大阪大学共同研究事業)：教材開発及び保育所、小学校での実施、子どもエコクイズ大会
代替手段の整備	①自転車で走りやすいまちづくりの実現(大阪大学共同研究事業)：調査研究及び社会実験の検討 ②地域におけるより便利な交通手段の整備：エコーバス以外の実現可能なコミュニティバスタイプ、導入地区、導入社会実験計画等の検討	①自転車で走りやすいまちづくりの実現(大阪大学共同研究事業)：基礎調査研究 ②地域におけるより便利な交通手段の整備：各種自家用自動車による波動需要対応バス(以下「エコーバス」という。)の運行、事業者等と交通ICカードによる利便性促進の社会実験の実施
低公害車の普及	①「豊中市公用車の低公害車導入アクションプラン」に基づく公用車の低公害化 ②低公害バス購入に係る助成金交付	「豊中市公用車の低公害車導入アクションプラン」に基づく公用車の低公害化



大阪市における環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業

・事業の概要

様々な施策を組み合わせることによって、市民・事業者・関係機関と共に、生活利便性や活発な都市活動を支える環境負荷の少ない都市内移動システムの確立を目指すもの。



国道43号の大阪市港区弁天町駅前付近

- ・TDMの広報啓発
- ・学校向けMM
- ・ICカードの導入(地下鉄、バス)

- ・地域一体型事業所向けMM
- ・ドライバーを対象としたMM



環境ロードプライシングの実施

駅及び駅周辺のバリアフリー化

・ESTモデルの効果

CO2の削減効果として
110トン-CO2/年

ESTモデル事業の事業構想

「環境交通のまち・あらかわ」の実現

人にも地域にも地球にもやさしい

荒川区では、公共交通ネットワークの活用、歩いて楽しい街づくりにより、二酸化炭素(CO₂)の排出量削減を図ります。

3つの柱で「環境交通のまち・あらかわ」の実現を目指します。

- 公共交通、自転車、徒歩で快適に移動できる街
- 自動車に頼らず歩いて暮らせるコンパクトな街
- 区民参画、協働の安心、安全な交通の街

初年度
交通実態調査の実施、交通情報提供システムの検討等

2年目
トランジットモール、カーフリーゾーンの実証実験等
目標：CO₂前年比1%削減

3年目
コミュニティバス(エタール車)の延伸実験、共通ICカード導入等
目標：CO₂前年比1%削減



都電荒川線



コミュニティバス「さくら」



重点地域：南千住東部地域(汐入地域)

南千住

南千住東部地域(汐入地域)を重点地域として、マイカー規制等を実施するとともに、パーク・アンド・ライド等を活用し、幹線交通網の整備を図り、「環境交通のまち・あらかわ」の実現を目指してまいります。

地元の町会、自治会、商店街、事業者等の方々との協働を通じて、将来につながる街づくりの仕込みを盛り込んでまいります。



荒川区

上越市における環境的に持続可能な交通 (EST) モデル事業

～ 市町村合併による市域拡大に対応した持続可能なまちを育み支えるために ～

事業の概要

上越市は「地球環境都市宣言」(H10.6)を行い、環境の保全・改善に取り組んでいます。そして、市町村合併(H17.1)により拡大した市域に対応した持続可能なまちを実現するため、本事業では、公共交通を単に移動制約者の移動手段としてだけでなく持続可能なまちを育み支える政策ツールとしてとらえ、市民生活や地域の実態を踏まえながらマイカー利用からの転換を図るなど、公共交通ネットワークの再構築を目指し「地球環境都市・上越」にふさわしいまちづくりを展開するものです。

事業の内容

- バス路線の再構築：鉄道および幹線バス・支線バスを合わせた階層的ネットワークの構築。市街地内の公共交通空白地域の改善と交通結節点と公共施設を結ぶバス運行
- 分かりやすい利用可能なシステムの導入：バスロケーションシステムによる乗り継ぎの利便性向上
- 公共交通利用生活のPR：モビリティ・マネジメント、環境行動を促進するバス利用のインセンティブづくり
- 円滑な交通促進：交差点改良による円滑なバス運行、鉄道との立体交差道路新設、スマートICの利活用促進

※これらは「上越市総合交通計画」(H19.3策定予定)の一環でもあり。

目標

◆上越市の温室効果ガス削減目標◆
『平成16年度を基準に平成27年度までに2.0%削減する』
(H18.3上越市地球温暖化防止実行計画より)

本事業によってCO₂排出量を平成21年度までに運輸部門 約0.13% (H18年度比) 削減します。
(マイバス634t-CO₂)



新潟県上越市

大湯スマートIC恒久化

「階層的ネットワーク」のイメージ

凡例

- 鉄道
- 幹線バス
- 支線バス
- 地域交通エリア
- 拠点施設等

直江津市街地バス路線の変更

高田市街地バス路線の変更

春日山・関川東部巡回バス路線の新設

交差点改良 (関川東部下門前土地改良整理事業)

鉄道との立体交差道路新設 (飯田田新田線街路事業)

凡例

- ⊕ 総合病院
- ⊙ 警察署
- ⊙ 市役所
- ⊙ 商業施設
- ★ 大学・高校
- バスセンター

静岡市における環境的に持続可能な交通 (EST) モデル事業

テーマ『快適なモビリティ都市の実現に向けた自然環境にやさしい交通体系の整備』

基本方針：人を中心とした、自然環境への負荷の少ない都市交通への転換

その実現に向け、交通容量拡大策やマルチモーダル施策、交通需要マネジメントにより、移動時間20分エリアの拡大、公共交通利用への転換を図っていく。

目標

平成19～21年度の3ヶ年で、設定エリアでのCO2排出量を
15,400t-CO2 (4.7%) 削減(対基準比)

交通容量拡大策

【道路整備事業】

- ・国道1号静岡BP昭府立休(葵区)
- ・国道1号静岡BP4車線化(葵区、清水区)
- ・国道150号清水BP(清水区)
- ・(市)丸子池田線(駿河区丸子6)
- ・静岡下島線(駿河区福川)
- ・丸子池田線(駿河区丸子2)
- ・駒形井宮線(葵区)
- ・日の出町押切線(清水区押切)
- ・静岡下島線(駿河区石田)
- ・宮前岳美線(葵区)
- ・大和町梅ヶ谷線(清水区)
- ・蒲原駅南北線(清水区)
- ・(一)駒越富士見線(清水区)
- ・(市)中島36号線(駿河区)
- ・(市)中島37号線(駿河区)
- ・(市)静岡下島線(駿河区下島)
- ・丸子池田線(駿河区中田)
- ・辻町北脇線(清水区)
- ・静岡駅機線(葵区)

交通需要マネジメント

- ・オムニバスタウン計画シンポジウム
- ・教育的施策の実施



教育的施策の実施



バスICカードの導入

マルチモーダル施策

- ・静岡駅北口広場整備
- ・バス停留所のハイグレード化
- ・バスロケーションシステムの導入
- ・バスICカードの導入
- ・ワンステップ・ノンステップバスの導入
- ・サイクルシェアリング

施策内容

低公害車の導入、利用促進

和泉市における環境的に持続可能な交通 (EST) モデル事業

(別添資料)

事業概要

和泉市は、新市街地の開発に伴い継続的に人口が増加するとともに、東西軸に鉄道がないために、自動車に起因する交通渋滞、地球温暖化をはじめとする環境影響、交通安全などの問題への対応が急務である。

このため、ボトルネック踏切の解消、バリアフリー化などのハードな対策とともに、広く市民が参加するモビリティ・マネジメントの取り組みによって、複合する交通課題の解決をめざす。

市民・事業所を対象とした交通マネジメント

市民を対象とした目標

- ・市民対象「かしいクルマの使い方を考える」プログラムの実施
- ・個別公共交通情報提供

事業所を対象とした目標

- ・事業所モビリティマネジメント
- ・従業員対象「かしいクルマの使い方を考える」プログラムの実施

学校を対象とした目標

- ・「交通・環境学習」プログラム(平成14年度から実施、これまでに5校が取り組み)



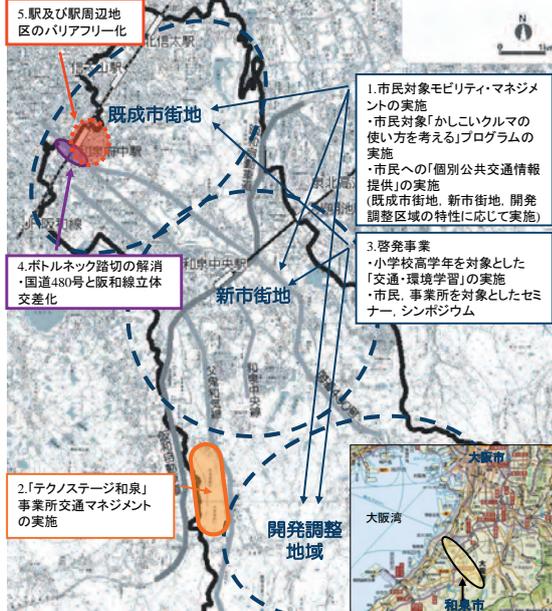
「テクノステージ和泉」約120事業所が入居完了。まちづくり協議会と協働して交通マネジメントを実施予定。

目標

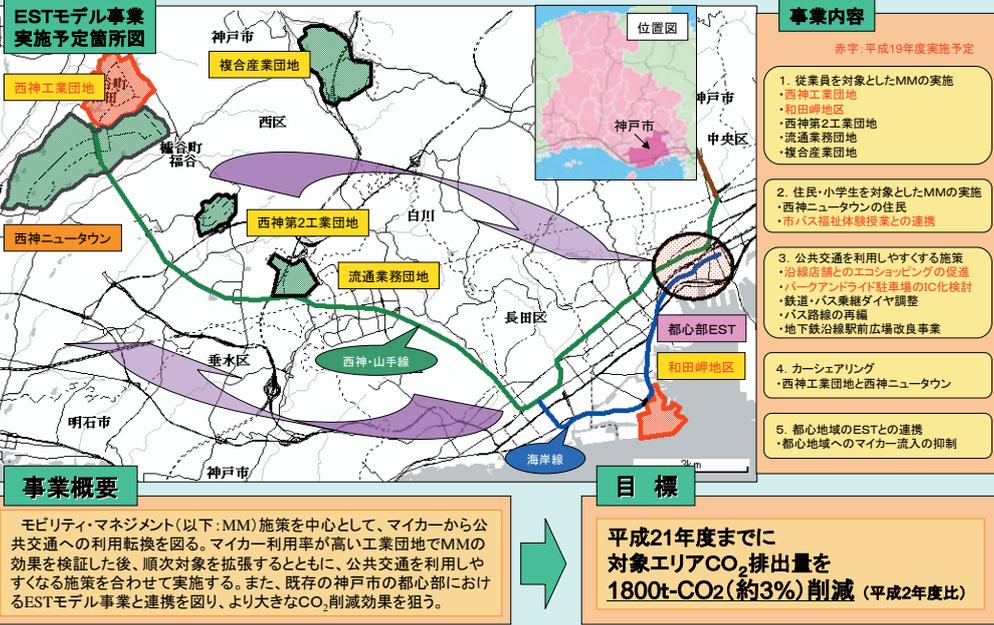
平成21年度までに
対象エリアCO2排出量を
10,500t-CO2(約1.7%)削減 (H18年度比)

- ・市民、事業所モビリティ・マネジメント等

ESTモデル事業実施箇所図



神戸市の都心周辺部におけるMMを中心とした持続可能な交通体系の確立



松江市環境行動計画モデル事業

《だれもが、安心して、やさしく移動できるまち・松江》

テーマ

松江市では、自動車に過度に依存する交通体系を見直し、環境負荷の小さい持続可能な交通体系をつくるため、自動車利用の適正化を図るとともに、公共交通機関の効率化・利用促進を推進する施策を、市民(企業)・交通事業者・行政の「協働」で継続的に展開する。

目標

平成21年度

- 公共交通機関利用者数の増加
【平成16年度の1.05倍】
- 自家用自動車CO₂排出量削減
【10% = 369 * 0.1 = 36.9(千t/CO₂)】

環境行動計画モデル事業の実施予定箇所図

